

## 登録引率者の募集と養成研修のあり方について

## 1. 新規養成研修に関する現状と課題

- 平成 23 年の制度開始以来、5 年間の新規養成を継続してきた。毎年平均 5 名程度の新規応募があり、研修・試験を経て 4 名程度が登録されている（下表）。
- 異動、転職等により活動を辞める引率者も毎年おり、引率者全体としては微増傾向である。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
新規応募人数	-	7	3	7	3	6	5
研修修了人数	26	6	3	5	3	5	3
試験受験人数	26	31	28	31	32	35	36
登録引率者数	25	28	27	30	30	33	35

※活動年度を基準とする。

- 積極的な広報の結果、北見や弟子屈などの遠方からの応募、旅館業や飲食業などガイド事業者以外の応募など、これまでとは異なったバックグラウンドを持つ参加者が見られた。
- 一方で、本業多忙により研修を断念する例も見られた。遠方からの参加者や本業を別に持つ養成者には、依然として厳しい条件となっている。
- 応募者は、新聞記事や各役場・観光協会に配布したチラシ等から情報を得ているとのことで、積極的な広報の効果が見られた。

## 2. 平成 29 年度の新規養成者募集及びカリキュラムについて

- 1) 募集チラシの関係団体や専門学校等への配布や新聞等への記事掲載など、引き続き積極的な広報を実施し、幅広い層の応募を図る。
- 2) 基本的には従前のカリキュラムを踏襲する。
- 3) 安全性の向上のため、実地試験について、試験官の増員と採点方式の適正化を図る。また、自主引率の実施方法を一部変更し、研修効果の向上を図る。